



みんな笑顔！
みんな主役！

千頭大祭

4年に一度の敬満大井神社祭典

さあさっ祭り始まりだ！

10月15日秋晴れの正午、掛け声とともに、住民の皆さんが集まってきました。4年に一度の祭典は、千頭大祭の名で親しまれ、昼の部は仮装行列と山車の練り歩き、夜の部は特設ステージでの演芸と花火の2部構成で催されます。

「奇祭と言っても過言じゃないよ！」恐竜に仮装した男性が笑顔で語りかけてきます。その言葉どおり見渡す限り珍妙な格好をした住民ばかり。女装やコスプレ、着ぐるみを身にまとい、工夫が凝らされた山車とともに、千頭地区を練り歩き、昼の部が幕を開けました。午後6時、会場を千頭の公園広場に移し夜の部が開幕。ヤマメの塩焼きや焼きそばが人気を集めたバザーのほか、ステージでの赤石太鼓の演奏や歌、ダンスに、観客は大きな拍手を送っていました。

「皆さんのご多幸を」の口上とともに花火が打ち上げられ、奥大井煙火保存会による手筒花火が披露されると、会場は熱気に包まれました。
こちらのQRコードから当日打ち上げられた花火をご覧ください。

